

インテリアプランナー協会見学会 2009.9.12 熱海の旧邸を訪ねて

イラストレポート 吉沢十真



旧日向邸は熱海駅からほど近い高台にある。つま先上がりの坂道は、運動不足の人にはちょっと息が上がるレベル。



今回の見学会参加者は十二名。さっそく徒歩で目的地へ向かう。



集合は熱海駅午前十時。

ブルーノ・タウト

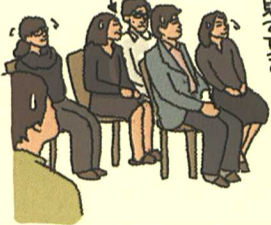
ドイツを代表する建築家。ナチスを逃れて日本にやってきたタウトは、貿易で財を成した日向利兵衛の別荘の、地下部分の設計を



任される。これは彼が日本に残した唯一の作品でもある。

見学前にビデオでブルーノ・タウトの経歴等を勉強。

若干緊張気味に30分のビデオ鑑賞。スリッパを脱いで注意された人もいる。

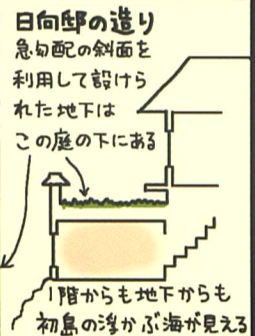
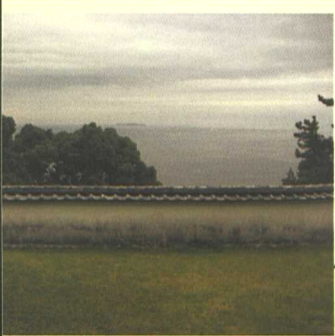


地下は写真撮影禁止。せめて壁や家具にさわらないで下さい。見せて下さい。



駅から徒歩十分、旧日向邸到着。玄関前で記念撮影。

旧日向邸を堪能して、タクシーで昼食会場へ。



日向邸の造り
急勾配の斜面を利用して設けられた地下はこの庭の下にある。1階からも地下からも初島の海が見える。

一般的な見学者にははしないというかなり専門的な建築素材や構造の話で盛り上がり、インテリアプランナー協会ならではのの濃い見学会となりました。

そしていよいよ、ボランティアガイドの中井さん、案内で地下部分へ移動。この中井さん、我々がインテリア関係の団体と知るや否や目が輝きます。

キラリン

地下はタウト独特の和洋折中空間。実験的な壁紙、意匠、建材、常識を超えた造りが面白い。

こんな照明が何十個も並んで天井からぶら下がっていた。地下はいいさ写真撮影禁止、なのをうろ覚えイラスト。

ドレーンがラーメンは盛り土...構造フラック

何のことが全くわからず苦笑いながらモウリヨ兄弟



昼食のあとは起雲閣。昼食は熱海市役所近くにある和食店。予約のちょっとした手違いから予算をはるかに超えるキンメダイの煮付けが届いてしまったのですが、お店の方の好意で何千円分かの差額をサービスしてくださいました。このキンメダイだけでなく、天ぷらもお刺身も大変美味しく、雰囲気の良いお店ですので、熱海でお食事をする節にはぜひ、ご利用になってみてください。おすすめです。



起雲閣
大正8年に別荘として築かれ、昭和二十二年より旅館として利用されてきた施設ですが、今は熱海市の所有となって一般公開されています。手入れされた一千坪という広大な庭と、贅沢で豪華な建物。昔の金持ちの財力を見せつけてくれます。

初代所有者 内田信也

次代所有者 磯道王根津嘉郎

